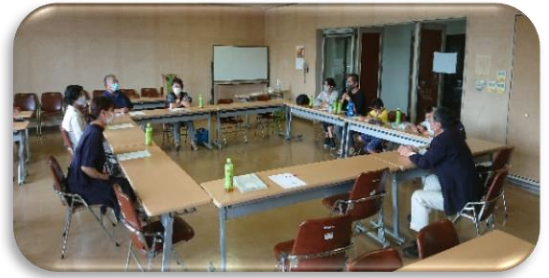


令和2年度 「ハッピー♥スマイル」 第2回開催報告

- 【日 時】 令和2年9月20日（日） 13:00～
【場 所】 浅口市民会館金光 1階視聴覚室
【参加者】 保護者4名 子供2名 救急救命士1名
医師2名 養護教諭1名



1 開 会

2 アレルギー情報提供

- ① 令和2年9月5日 山陽新聞 「アレルギーに水泳効果なし」
○小児期にスイミングスクールに通うことには、「喘鳴」や鼻炎といったアレルギー疾患を予防、治療する効果は認められなかったとする疫学研究成果を国立成育医療研究センターのグループが発表した。
- ② 令和2年9月12日 山陽新聞 「入園入学前 準備早めに」
○食物アレルギー児の保護者にとって、入園・入学時には心配事が多い。正確な診断を受け、給食などの対応を確認するには、入園入学の半年前には準備を始めるのが望ましい。また、面談時には緊急時対応の相談も必要である。
- ③ WEB版すこやかライフ 2020年9月1日（独立行政法人環境再生保全機構）
○「食物アレルギー」について（コラム）
佐藤 さくら先生（国立病院機構相模原病院臨床研究センター）
食物アレルギーとはどんな病気か？診断は？診断されたらどうするか？
発症の予防はできるか？について紹介した。

④アレルギー講演会のお知らせ

- 愛知県アレルギー講演会
テーマ「アレルギーを知って医療機関と上手に付き合おう」
日時：10月4日（日）14:00～16:00
場所：刈谷市産業振興センター小ホール
定員：100名
主催：愛知県／愛知アレルギー疾患連絡協議会
***開催の様様を後日WEBで視聴できる。**



3 情報交換

- 宿泊を伴う校外研修時の対応について
- ①子ども用のファイルを作り、症状発現時の対応を書いておく。
 - ②エピペン、病院搬送までに時間がかかることもあり2本用意しておく。
 - ③管轄の消防署に連絡し、アナフィラキシーショックの対応ができる救急病院や救急車が1台しかなく、その救急車が出動している場合の対応を確認しておく。
 - ④確認後、救急病院に連絡をした後、学校に消防署や病院に連絡を入れている旨伝える。学校からも消防署・病院に連絡を入れてもらうよう依頼する。
 - ⑤主治医に診療情報提供書を書いてもらい研修に持参する。
 - ⑥いくら気をつけても、誤食の危険もあり、場合によっては、アレルギー対応のレトルト食品を準備しておく。

- 学校のアレルギー対応は、地域差がある。養護教諭が食物アレルギーをどのように認識しているか、管轄の教育委員会の認識を変える必要がある。医師会としても学校医と連携して、根気よく取り組んでいきたい。
- 熱中症について（頃末救急救命士より）
 - ①体を冷やす方法として、首、腋下、鼠径部に氷嚢を当てることと言われてきた。最新の知見では、両手と両足や頬を保冷剤で冷やすとより早く体温を下げられるとのこと。
 - ②新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、応急手当を行う方の感染を防止するため、以下の点に気をつける。
 - 自分のマスクがあれば着用する。
 - 意識や呼吸の確認は、倒れている人の顔と応急手当を行う方の顔があまり近づきすぎないようにする。
 - 呼吸の確認は、胸とお腹の動きを見て行う。
 - 胸骨圧迫を開始する前に、倒れている人の口と鼻に、布やタオル、マスクなどがあればかぶせる。
 - 救急隊に引き継いだ後は、口元にかぶせた布やタオル、マスクなどは、直接触れないようにしてナイロン袋等に入れて廃棄する。
 - 石けんを使い、手と顔をしっかり洗う。うがいをする。



次回は、**令和2年11月15日（日）浅口市健康福祉センター**で開催します。情報交換の予定です。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止するかもしれません。事前にホームページでの確認をお願いします。

（浅口医師会 高山 晴彦）

「ハッピー♥スマイル」

